

第 6 3 回 富 山 県 中 学 校 柔 道 選 手 権 大 会 要 項

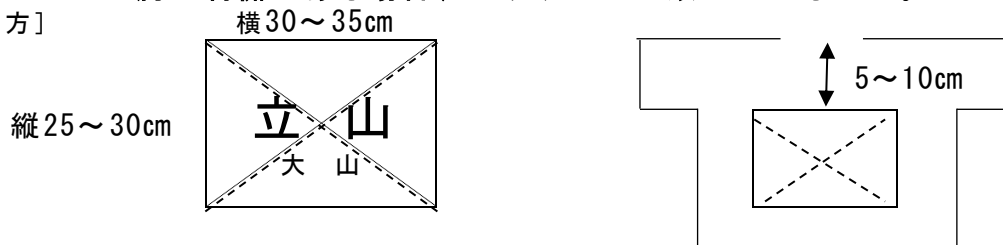
- 1 期 日 令和 7 年 7 月 1 3 日 (日)
- 2 会 場 立山町武道館
〒930-0255 富山県中新川郡立山町向新庄123 TEL 076-463-5077
- 3 日 程
- | | | |
|-------------|----------------|---------------------------|
| 1 2 日 (土) | 集合 | 1 1 時 2 0 分 |
| | 会場準備 | 1 1 時 3 0 分 ~ |
| | 計量・検査 | 1 3 時 0 0 分 ~ 1 4 時 0 0 分 |
| | 監督会議 | 1 4 時 1 5 分 |
| | 開会式 | 1 4 時 4 5 分 |
| | 会場開放 | 1 6 時 0 0 分 まで |
| 1 3 日 (日) | 開場 | 8 時 0 0 分 |
| | 審判会議 | 8 時 2 0 分 |
| | 競技開始 | 9 時 0 0 分 |
| | (昼食時間は設けません) | |
| | 競技終了予定 | 1 5 時 3 0 分 |
| | 閉会式 | 1 5 時 4 0 分 |

4 計量・ 柔道衣検査

- (1) 日 時 7 月 1 2 日 (土) 1 3 時 0 0 分 ~ 1 4 時 0 0 分
- (2) 場 所 立山町武道館
- (3) 注 意 事 項

- ・ 団体戦の計量及び柔道衣検査はチーム単位で受ける。
- ・ 公式計量は 1 回のみとする。(団体戦・個人戦を兼ねる)
- ・ 予備計量の時間を設ける。(1 2 時 ~ 1 3 時)
- ・ 服装検査はパスするまで何度受けてもよい。
- ・ 女子の T シャツについては、色は白又は白色に近い色の半袖で、丸首無地の T シャツ又は半袖のレオタードとする。製造者マークは最大 2 0 c m のサイズであれば認められる。ただし、柔道衣を着用したときに製造者マークが見えてはならない。所属名称または所属を表すエンブレムは左胸に固定した状態で最大 1 0 0 c m までのものは認められる。
- ・ 出場者は周囲と対角線を強い糸で縫いつけたゼッケンが付いた認証柔道衣(赤色マーキングのもの)を着用する。
帯についても認定された帯とする。
- ・ ゼッケンの規格等(サイズ、取付位置)については下記を参照する。(北信越大会、全中大会も同様)
- ・ 胸の刺繍がある場合、ゼッケンと一致していること。

[ゼッケンの付け方]



5 競技方法

(1) 団体戦

- ① 男子…… 1 6 チームによるトーナメント方式で行う。
- ② 女子…… 8 チームによるトーナメント方式で行う。
- ③ 2 チーム間における対抗方式は、男子は 1 チーム 5 人、女子は 1 チーム 3 人による紅白点取り試合方式で行う。
- ④ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても同様に体重順とする。試合ごとの選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

- ⑤ 団体戦におけるトーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、任意の1名による代表戦により決定する。

(2) 個人戦

男女とも8階級、各階級16名によるトーナメント方式で行う。

各階級の参加者数が16名にならない場合は、トーナメントの形を変えたり、リーグ方式で行ったりする場合がある。その場合は、柔道専門部で協議し決定する。

6 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規程(2025-2028)、国内における「少年大会特別規程(2025.4.1改定)」及び「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」による。
- (2) 勝敗の判定基準は次のとおりとする。
- ① 団体戦の個々の試合には、「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差勝ち」とは、「指導」差が2以上あった場合に、「指導」の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。優劣の成り立ちは以下の通りとする。
「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「有効」>「僅差」
 内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。代表戦で得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。勝敗の基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様にする。延長戦は時間無制限とする。
 - ② 個人戦における勝敗の判定基準は、「一本」「技有」「有効」「僅差」及び「反則負け」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。ゴールデンスコアは、時間無制限とする。ゴールデンスコア中は、スコアが与えられた時点が直接の「反則負け」及び新たに指導差がついた場合に勝敗が決する。
- (3) 団体戦の勝敗は、次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、以下の内容により決定する。
 - (i) 一本勝ちの数
 - (ii) (i)において同等の場合は「技あり」勝ちの数
 - (iii) (ii)において同等の場合は「有効」勝ちの数
 - ウ イにおいて同等の場合は、任意の1名による代表戦により決定する。代表戦の判定基準は個人戦に準じる。
- (4) 試合時間は、団体戦・個人戦とも3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)は時間無制限とする。
- (5) 柔道衣は白色とする。
- (6) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。ただし、男女とも全柔連で認証された黒帯を使用する。白帯についても認証された帯とする。

7 参加数

(1) 団体戦

- ① 男子は各地区4チームの計16チーム、女子は各地区2チームの計8チームとする。
- ② 男子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内とする。
- ③ 女子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内とする。

(2) 個人戦

- ① 男女ともは8階級で、各階級とも各地区4名まで出場できる。
- ② 参加申込に際して、各地区の各階級の1位から4位までの順位を明記すること。
- ③ 体重区分は次のとおりとする。
 - ・男子 50kg級 (50kg以下)
55kg級 (50kgを超えて55kg以下)
60kg級 (55kgを超えて60kg以下)
66kg級 (60kgを超えて66kg以下)
73kg級 (66kgを超えて73kg以下)
81kg級 (73kgを超えて81kg以下)
90kg級 (81kgを超えて90kg以下)
90kg超級 (90kgを超える)
 - ・女子 40kg級 (40kg以下)
44kg級 (40kgを超えて44kg以下)
48kg級 (44kgを超えて48kg以下)
52kg級 (48kgを超えて52kg以下)
57kg級 (52kgを超えて57kg以下)
63kg級 (57kgを超えて63kg以下)
70kg級 (63kgを超えて70kg以下)
70kg超級 (70kgを超える)

8 表 彰 団体戦、個人戦とも、3位(ベスト4)までとする。
※閉会式での結果発表および表彰は、団体戦、個人戦とも1位のみとする。

9 申 込 み 6月19日(木) 郵送必着(FAX不可)
申込先 高岡市立五位中学校 竹内 優香 宛
〒933-0325 高岡市立野50 TEL 0766-31-0309
※申込に際しては、「日本中体連柔道競技部」および「富山県中体連」が定める条件を満たしていること。
※修業期間が6カ月以上経過しない中学生は参加できない。

10 組 合 せ 県選手権大会プロ編成会議において専門部が抽選する。
6月25日(水) 13:00～ 富山県総合運動公園にて

11 そ の 他 全柔連の通達により、選手及び監督は下記事項を遵守すること。
① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。

全国大会出場 男女団体戦で1位になった1チーム
男女個人戦で1位になった1選手

北信越大会出場 男女団体戦で1・2位になった2チーム
男女個人戦で1・2・3位になった3選手

地区主任は期日までに下記の電子データを提出すること。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・参加者一覧表(男女団体、男子個人、女子個人)・参加料受領一覧表・団体戦出場者名簿 ※地区大会のエントリーメンバー・個人戦出場者名簿・競技役員名簿 |
|---|

提出期日・・・6月17日(火)まで、委員長に提出